# 民生協議会協議事項

1日時 令和3年1月21日(木)午前10時場所 第三委員会室

- 所管事項の報告について
  - 1 高齢者自身によるセルフ介護予防事業の推進について
  - 2 新型コロナウイルスワクチンに係る接種体制の確保について
  - 3 令和2年八戸市の火災と救急・救助について

民生協議会資料 令和3年1月21日 福祉部 高齢福祉課

### 高齢者自身によるセルフ介護予防事業の推進について

#### 1. コロナ禍における高齢者の現状と課題

核家族化の進展や地域社会とのつながりの希薄化等により、高齢者の孤立化や閉じこもりが 懸念される中、今般の新型コロナウイルスの影響で、高齢者が介護予防教室や高齢者ほっとサロン等の介護予防事業への参加や外出そのものを自粛することにより、高齢者の心身機能の低 下が懸念され、その対策が喫緊の課題となっている。

#### 2. 介護予防パンフレット(A4フルカラー16ページ)の作成及び配布

上記のことから、高齢者はもとより、全世代を対象とした「自分でできる」「自宅でできる」をテーマとした介護予防のパンフレットを作成し、昨年12月下旬に全戸配布するとともに、市ホームページにも掲載している。

- ※ パンフレットの掲載内容
  - ・介護予防の必要性
  - ・散歩、テレビ体操、有酸素運動
  - ・ストレッチ、筋力トレーニング
  - ・食習慣、歯と口の健康
  - 基本チェックリスト
  - ・ほっとサロン、老人クラブ、老人いこいの家
  - ・介護予防センター及び高齢者支援センター



#### 3. 介護予防DVD(約60分)の作成及び配布

介護予防についてのDVDを作成し、来月より関係機関に配布する予定である。

#### ※ 収録内容

- 介護予防の必要性
- ・運動時の注意点、ストレッチ、筋力トレーニング
- ・健口体操(唾液腺マッサージ、嚥下体操)
- ・レクリエーション
- 散歩
- ・自宅でできる有酸素運動
- ・介護予防センター及び高齢者支援センターの紹介

#### ※ 配布先

- ・高齢者支援センター(12圏域)
- ・高齢者ほっとサロン (72 か所)
- ・老人クラブ (146 クラブ)
- · 民生委員(454人)
- 各地区公民館
- ※ 市ホームページに動画を掲載することを予定している。



#### 4. 今後の取組

パンフレット及びDVDの活用により、高齢者が自分自身で介護予防に取り組む意識を醸成するとともに、地域をはじめ市全体で高齢者の介護予防への取り組みを支援する意識も醸成していく。そのため、配布後も積極的に活用をPRし、高齢者が住み慣れた地域で介護予防に取り組めるような場づくり(高齢者の集いの場)を支援していく。

#### 新型コロナウイルスワクチンに係る接種体制の確保について

#### 1. 対策室の設置

新型コロナウイルスワクチンが薬事承認された場合、速やかに接種できる体制を確保するため、健康部保健所保健予防課に新型コロナワクチン対策室を新たに設置

(令和3年1月15日付)

健康部保健所保健予防課 感染症対策グループ 保健福祉グループ 新型コロナワクチン対策室(13人体制)

#### 2. ワクチン接種の概要

- (1)接種対象者 全市民 約 226,000 人
- (2)接種費用 無料(市から送付される接種券を使用)
- (3)接種回数 2回 ※接種方法は、集団接種の実施を含め検討中
- (4) 進め方(現時点での国の想定に基づく)

開始時期	接種順位	対象人数 (概数)
2月下旬	医療従事者 (優先接種)	約 9,700人
3月下旬	高齢者 (優先接種)	約 69,800人
4月以降	基礎疾患がある方、高齢者施設等の従事者(優先接種)	約 14,400人
	その他の方	約 132, 100 人

※開始時期及び接種順位は、国の審議会での検討やワクチンの供給状況等により見直 される場合がある

#### 3. 事業費等

接種体制の確保及び接種の実施に係る費用は、基本的に国が負担する。 医療従事者及び高齢者の優先接種に必要となる事業費を一般会計補正予算として、 本日付けで専決処分する。

#### ○補正予算の内容

新型コロナワクチン接種事業費 427,104千円 (接種券の発行、医師派遣に係る委託料、コールセンターの運営等)

# 令和2年八戸市の火災と救急・救助

# 1 火災概況

#### (1) 発生状況

令和2年における火災の発生状況は、総火災件数が59件で、前年に比べ4件の減少となっている。 火災種別でみると、建物火災33件(前年比2件減)、車両火災6件(同1件減)、林野火災6件 (同4件増)、船舶火災1件(同1件増)、その他の火災13件(同6件減)である。

火災による死者はなく(前年比9人減)、負傷者は17人(同8人増)である。り災世帯は21世帯 (同13世帯減)、り災人員は39人(同38人減)、焼損棟数は55棟(同4棟減)である。

△印は減少

				4 Pi 16/18/9
区分	年 別	令和2年(A)	令和元年 (B)	増 減(A)-(B)
	合 計	59	63	△ 4
<b>l</b>	建物	33	35	△ 2
火《	車両	6	7	Δ1
火	林野	6	2	4
火 災 件 数	船舶	1		1
	航空機			
	その他	13	19	Δ 6
死	者		9	△ 9
負	傷  者	17	9	8
IJ	世帯	21	34	△ 13
災	人員	39	77	△ 38
1.4	合 計	55	59	Δ4
焼 損 棟 数	全焼	22	13	9
	半焼	1	9	Δ8
	部分焼	15	18	Δ 3
	ぼや	17	19	Δ2

#### (2) 出火原因

出火原因別でみると、第1位が「ストーブ」で9件、第2位が「放火」、「たき火」で各6件、第4位が「たばこ」で5件となっている。

△印は減少

順	年 別	令和2年(A)	令和元年 (B)	增 減(A)-(B)
位	原因合計	59	63	△ 4
1	ストーブ	9	5	4
2	放火	6	9	Δ3
۷	たき火	6	8	Δ2
4	たばこ	5	5	
5	放火の疑い	4		4
6	こんろ	3	3	
	配線器具	3	3	
	電灯・電話等の配線	3	3	
	マッチ・ライター	3	2	1
	排気管	2	2	
	灯火	2		2
	火入れ	1	2	Δ1
	衝突の火花	1		1
	焼却炉	1		1
	その他	6	15	△ 9
	不明	4	6	Δ 2

## 2 救急概況

令和2年における救急出動は8,786件で、前年に比べ534件の減少、医療機関への搬送人員は8,233人で513人の減少となっている。一日の平均出動件数は24.0回、60.0分に1回の割合で出動したことになる。

事故種別の出動件数で最も多いのは、急病の6,077件(前年比358件減)で、次いで一般負傷 1,028件(同22件減)、転院搬送820件(同74件減)、交通事故472件(同49件減)となっている。 党知から現場到着までに要した平均時間は9.0分、党知から医療機関収容までに要した平均時間 は35.6分である。

△印は減少

	区分	出 動件数			搬 送 人 員		
		令和2年	令和元年	増 減	令和2年	令和元年	増 減
種	別	(A)	(B)	(A)-(B)	(A)	(B)	(A)-(B)
	合 計	8,786	9,320	△ 534	8,233	8,746	△ 513
	急病	6,077	6,435	△ 358	5,704	6,033	△ 329
	一般負傷	1,028	1,050	△ 22	973	1,012	△ 39
	交通事故	472	521	△ 49	473	520	△ 47
	自損行為	104	92	12	77	67	10
	労働災害	81	91	Δ 10	81	89	Δ8
	火 災	56	53	3	16	9	7
	運動競技	52	81	△ 29	52	80	△ 28
	加害	37	43	Δ 6	30	40	Δ 10
	水難事故	11	10	1	6	4	2
	自然災害	3	2	1	3	2	1
そ	転院搬送	820	894	△ 74	816	890	△ 74
の	医師搬送	22	27	△ 5			
	資器材等輸送	3		3			
他	その他	20	21	Δ1	2		2

(注)事故種別中「その他のその他」には、誤報・虚偽等を含む。

# 3 救助概況

令和2年における救助出動は32件で前年に比べ12件減少、救助人員は18人で前年に比べ16人の減少となっている。

事故種別でみると、交通事故が16件(前年比3件減)、水難事故が6件(同同数)、建物等による事故が3件(同2件減)、火災が1件(同5件減)、機械による事故が1件(同同数)、その他の事故が5件(同2件減)となっている。

事故種別毎の救助人員は、交通事故が7人、水難事故が5人、建物等による事故が2人、火災が1人、機械による事故が1人、その他の事故が2人となっている。

△印は減少

区分	出動件数			救助人員		
種別	令和2年 (A)	令和元年 (B)	増 減 (A)ー(B)	令和2年 (A)	令和元年 (B)	增 減 (A)(B)
合 計	32	44	△ 12	18	34	△ 16
交通事故	16	19	△ 3	7	14	Δ7
水難事故	6	6		5	7	Δ 2
建物等による事故	3	5	△ 2	2	2	
火災	1	6	△ 5	1	4	△ 3
機械による事故	1	1		1	1	
ガス及び酸欠事故						
自然災害						
その他の事故	5	7	△ 2	2	6	△ 4